

『日清食品グループ 中長期成長戦略』始動!!

～新たな食文化の創造による“日清独自のCSV経営”の追求へ～

日清食品グループのCSV経営

常に新しい食の文化を創造し続ける“EARTH FOOD CREATOR(食文化創造集団)”として、環境・社会課題を解決しながら持続的成長を果たします。



MISSION

創業者精神

食足世平 食創為世
しょくそくせへい しょくそうせい
 美健賢食 食為聖職
びけんけんしょく しょくせいせいしょく

VISION

EARTH
FOOD
CREATOR



VALUE

大切な4つの思考



中長期成長ストーリー

ビジョンの実現と持続的成長に向け、3つの中長期的な成長戦略テーマに取り組みます。

価値の“向上”に向けて

既存事業の
キャッシュ創出力強化

海外+非即席めん事業のラグ
レッシュな成長により利益ポート
フォリオを大きくシフトさせながら
持続的成長を追求

価値の“持続”に向けて

EARTH FOOD
CHALLENGE
2030

有限資源の有効活用と気候変動
インパクト軽減へのチャレンジ。
既存事業のライフサイクルの超
長期化へ

価値の“飛躍”に向けて

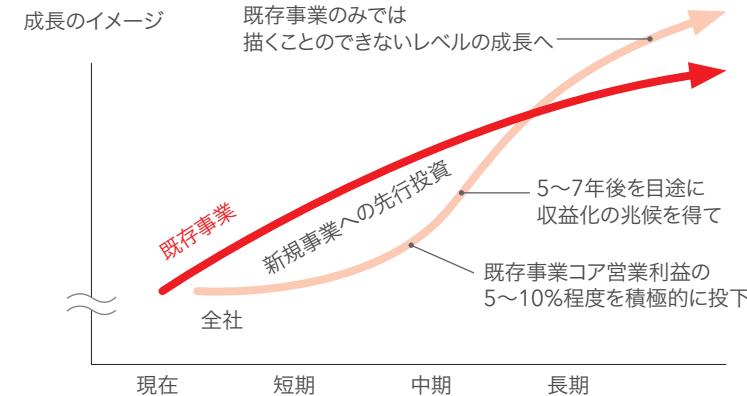
新規事業の推進

フードサイエンスとの共創による
“未来の食”
テクノロジーによる食と健康の
ソリューション企業へ



持続的な利益成長の考え方

一過性の要因に左右されない“実質的・持続的な成長”を測定するための利益指標「既存事業コア営業利益」*を定義し、これを1桁台半ば水準で成長させることを経済価値ターゲットの中核とします。



*営業利益から、減損等のその他収支影響や連結時円換算為替影響に加え、積極的先行投資を行う新規事業の損益を控除した管理指標

EARTH FOOD
CREATORの体現



中長期的な経営指標(定量目標)

既存事業コア営業利益の持続的成長を中核に、効率的な資本活用、安全性ある負債活用、そして安定的な株主還元を4つを経済価値(財務)ターゲットとし、非財務目標と併せて追求していきます。

	価値区分	経営指標	中長期目標値
財務	成長性	既存事業コア営業利益成長率 為替一定	1桁台半ば
	効率性	ROE	長期的に10%
	安全性	純有利子負債/EBITDA倍率	≤2倍
	安定的株主還元	配当政策	累進的配当
非財務	有限資源の有効活用	相対TSR(TOPIX食料品対比)	>1倍
		持続可能なパーム油の調達比率	100%
	気候変動インパクトの軽減	水使用量 IFRS売上100万円あたり	12.3m ³
		流通廃棄物削減率(日本国内) 15年度対比	△50%
		CO ₂ 排出削減(Scope 1+2) 18年度対比	△30%
		CO ₂ 排出削減(Scope 3) 18年度対比	△15%